



グリーンシート

緑のまちづくり協会は、市民・企業のみなさまと共に、一人一花運動に取り組んでいます。
緑のコーディネーター 253 人 地域の森づくり活動団体 21 団体 地域の花づくり活動団体 215 団体
花壇スポンサー企業 145 社（令和3年9月1日現在）



発行元（公財）福岡市緑のまちづくり協会

2021 一人一花サミット

10月30日・31日の両日、植物園で一人一花サミット2021が開催されました。一人一花運動に取り組む活動団体・市民・企業等が一堂に集う花と緑のイベントです。

オープニングセレモニーでは、花と緑のまちづくりに関わる方々の表彰、市長からの「植物園NEXT」についての発表がありました。トークセッションでは、植物園にできる新施設についてのトークが繰り広げられました。

目次

- 一人一花サミット P.1
- 全国まちづくりコンクール P.4
- 緑のレポート P.6
- 緑のスケジュール P.12
- 今月の森花 P.13
- ちょこっとメモ P.14

一人一花表彰式

花と緑に関する市長表彰

都市公園保全美化功労者・団体 27団体

花と緑のまちづくり地域活動功労者 20団体

一人一花サミット2021



赤坂1丁目4区町内会

赤坂花壇に花を咲かせ隊

壱岐校区 生活環境部

生松台みどりと花の街創りの会

今津元寇防墾・松原愛護会

景勝クラブ

警固3丁目3区自治会

ザザン通りフラワーくらぶ

志賀島－海の中道サイクルツーリズム協議会

下長尾北公園花の会

シャルマンコーポ博多緑の会

大和リース株式会社

竹公園を守る会

輝国花の会

中尾北公園ひまわりの会

博多中央フローラクラブ

花舞

花みずき通り商店会

瑞穂公園愛護会

わたなべ平和の森を守る会

民有地の緑の保全功労者 1名

都市緑化、都市公園事業功労者

プレミアムポンサー

株式会社石原和幸デザイン研究所

日本製紙クレシア株式会社

第一生命保険株式会社 福岡総合支社

ゴールドポンサー

株式会社ニチリウ永瀬

ポンサー

株式会社イオスコーポレーション

有限会社エムワークス

有限会社クール・ドライブ

西部ガス都市開発株式会社

第一生命保険株式会社 福岡総合支社

一般社団法人日本デリシャスハーバリウム協会

日本トーター株式会社

株式会社ハマエンジニアリング

株式会社福岡損保鑑定

POSCO Japan PC株式会社

株式会社クリスター

福岡市緑のコーディネーター10年功労者 23名



綾香 誠司

伊藤 彰子

井上 英子

蘭牟田 了子

遠藤 紀代子

大田 宏志

尾仲 正好

笠松 守

金子 裕子

坂口 妙子

坂本 勲

眞如 貴代

菅村 かえで

高根 由紀子

竹下 順子

平塚 恵

二俣 はるみ

堀 康典

本多 俊道

峯崎 秀康

諸隈 アサ子

柳瀬 美紀子

吉松 晃子

(五十音順)

福岡市緑のまちづくり協会理事長表彰

花と緑のまちづくり賞

野間大池公園花学校

花そうかい

次号でご紹介☆乞うご期待!!!



花と緑のまちかど写真コンテスト 25名

花と緑のまちづくり推進功労者 17団体



あいランドはなの会

荒戸3丁目1区町内会

生松台三角花壇クラブ

ウエストヒルズ花ボランティア

梅林ガーデンクラブ

エコ・ガーデンと愉快な仲間たち

大池公園花クラブ

市民緑化活動グループ「わたしの木」

下山門校区ひまわりを咲かせる会

白金広場花いっぱい実行委員会

地域に花を咲かせよう会

西の丘団地法面緑化推進ボランティアグリーンサポートクラブ

能古花づくり推進委員会

博多駅東街づくり連合会

福岡市立博物館フラワーボランティア

フラワースポットつくば開成

やよい坂花の会



イメージパース 植物園の芝生広場横に建設されるボタニカルライフスクエア

10月30日、一人一花サミットで、拠点施設の整備について市長発表があり、「ボタニカルライフスクエア」という名称とともに、イメージパースがお披露目されました。

その後のトークセッションでは、市長や石原和幸氏、施設の設計者（株）アトリエサンカクスケールの村上明生氏、緑のコーディネーター3名、筑紫女学園高等学校園芸部2名が参加し、ボタニカルライフスクエアの活用について様々なアイデアを出していただきました。

ボタニカルライフスクエアは、花緑の活動はもちろんのこと、様々なジャンルの融合や夜間の開放も視野に入れた幅広い活用をめざそう！と盛り上がりいました。

ボタニカルスクエアのイメージ動画を福岡市一人一花 You Tube チャンネルにアップしていますので、ぜひご覧ください。



トークセッションで「わたしの植物園 NEXT」を発表

1度で3度お花を楽しめるよくばりワークショップ

一人一花サミット福岡市植物園10／31(日)



[使った花材]

- ・ピンクッション
- ・ハイブリッドスターチス
- ・ユーカリ
- ・ヒヤシンスの球根

「花と緑のまちづくり活動」の拠点施設

ボタニカルライフスクエア イメージパース発表＆活用の アイデア意見交換



イメージパース 少人数の利用から最大100人規模の大きなセミナーまで、幅広い利用が可能な多目的スペース



イメージパース 花・緑活動に限定しない様々なジャンルの活動の場として、多様な市民ニーズに応じて利活用

今後、ボタニカルライフスクエアは具体的な設計に入ります。この施設でこんな活用をしたいというご意見、引き続き承ります。



**花むすび
草場洋子さん・柴田 薫さん**

ひとつの花瓶から気軽に楽しむ～花のある暮らし～を体験していただきました。

生花から⇒ドライフラワーのスワッグへ⇒空いた花瓶で球根の水栽培。

嬉しいことに午前中で定員となり完売！！

これからも子どもさんから大人まで簡単に短時間で花や緑に親しんでもらえるWSを続けていきたいと思います♪♪





全国花のまちづくりコンクール



このコンクールは全国で取り組まれている花のまちづくりの優秀な活動を顕彰し、社会に広く発信することで、全国で花のまちづくりが普及定着することを目的に毎年開催されています。今年度は応募総数 1,031 点の中より受賞者が決定されました。

福岡市からは団体部門で舞鶴公園フラワーボランティアさまが、また、個人部門では石井康子さまが 2002 年に続き2度目の「花のまちづくり優秀賞 - 花のまちづくりコンクール推進協議会長賞」を受賞しました。

コンクールの報告書に掲載された内容を一部ご紹介します。

団体部門

舞鶴公園フラワーボランティア

季節感を感じ、華やかでボリュームのある花壇づくりを 2014 年から始めました。育苗施設や堆肥ヤードを園内に保有し、25 名の会員が種まきや株分け等で作る大量の花苗は地域の気候風土に合っており、強い花苗生産を実現しています。落ち葉で作った完熟堆肥は臭いがなく、農薬も極力使用しないなど、来園者や環境に配慮しています。

植え替え作業では来園者にボランティア参加を促すなど若い世代への普及啓発も積極的です。小中学校での花育や花苗装飾、公民館での寄せ植えなど、花のまちづくりを横に広げる中核的な取り組みが高く評価されました。



個人部門

石井 康子

1993 年に自宅マンションで始めたハンギングバスケットから、子供が通う学校、地域、市内、県内での花のまちづくりへと活動が発展してきました。市民や行政、企業との連携関係を構築し、花仲間を積極的に増やして皆で楽しく取り組んでいます。

福岡市緑のコーディネーターの 1 期生として、市の施策「一人一花運動」を実践して牽引する役割も担っています。

駅、植物園、病院での花壇づくり、親子ガーデニング教室等の講習会の継続、SNS やメディアでの発信など、その技術力や活動スタイルが多くの協働者を獲得して活動の厚みが増していることが高く評価されました。



受賞者のみなさま



現地審査の様子



協会より

今回の現地審査では、審査委員1名、事務局1名をお迎えして、活動内容のプレゼンテーションと花壇現地へご案内しました。審査委員の方々からは「現地を見て実際の人のつながりを知り、とてもよく活動内容等が理解できました」との言葉をいただきました。

今後も福岡市内で行われている素晴らしい活動を全国の方々に知ってもらえるよう、そして皆様の活動の励みになるようにPRしていくかなくては改めて思ったコンクールでした。

作品募集

緑のコーディネーター 作品展

福岡市緑のまちづくり協会では、緑のコーディネーターPRを目的に緑のコーディネーター作品展を開催します。市民が花と緑に親しむきっかけになるような、花と緑の作品をお待ちしています。

提出締切
11/27

募集作品 屋内で長期間展示が可能な作品
プリザ・ハーバリウム・テラリウム・リース・
写真データなど *根付きの作品は展示できません

募集数 20作品程度**展示場所** 福岡市総合図書館他**展示期間** 令和3年11月30日～12月26日**連絡先** 緑のまちづくり協会

みどり課 安武

大野城まじかひの
お問い合わせなどなつて
しまいましたが、
ステキな作品お待ち
しております！



まどかぴあ市民大学 おとの楽校

3時間目

12月11日(土)
14:00～15:30

「花のある暮らし 花とともに」

講師：石井 康子
(園芸研究家、緑のコーディネーター)

花には、飾ることで心が癒されたり、触ることで笑顔になったりと、不思議な魅力がたくさんあります。

これまでのボランティア活動や講座、福岡県をはじめ全国の「花のまちづくり」活動等の経験を通して感じたこと、また植物に触れる楽しさやその方法についてお話しします。

花のある暮らしについて、考えてみませんか。

プロフィール

園芸研究家。(公財)日本花の会評議員、花のまちづくりアドバイザー。
(一社)日本ハンギングバスケット協会 本部講師。福岡市緑のコーディネーター。
香蘭女子短期大学 非常勤講師。

「全国花のまちづくりコンクール」個人部門第2位。「ハウステンボスコンテスト」コンテナ、ハンギングバスケット、プランツガーデンの各部門で最優秀賞受賞、現在コンテストの審査員を務める。

TV、ラジオ番組出演や園芸テキストの監修。

花のまちづくりボランティア活動や福岡市の「一人一花運動」に参加。



緑のレポート



愛宕山森づくり2021 愛宕の森と緑を守る会

日 時 10月23日(土)
集 合 愛宕神社入り口、岩井屋前広場
講 師 志賀 壮史・甲斐 洋一
参加者 地域の参加者19名他会員6名

報告

愛宕の森と緑を守る会
緑のコーディネーター
山崎 喜代子さん

参道から一步入った『愛宕山探索路』の一角で、小1から中3の子どもも9人が親たちとともに、森の香りを嗅ぎながら、森の中で爽快な森づくりの時間を過ごしました。

次々とたのもしく木を切り倒すふだんとは違う子どもの姿に大人も感激。切った間伐材を利用して、講師の指導で鉛筆づくりをしてマイペンシルを完成。ドングリ植えの後には、子どもが育てた愛宕山産カブトムシの幼虫を森の中のカブトムシ床に放しました。



不思議とやみつきになる間伐材伐採



鉛筆づくり？ 鉛筆削り？



20年後のクヌギ林を夢見てのドングリ植え



なかまが育てた愛宕カブトムシを無事カブトムシ床へ

花壇の植え込み

報告

井尻4丁目シニアクラブ
岩瀬 宜和さん

11/3(水) 文化の日に『蓮の池花談』の春に向けての花壇の植え込みを行いました。

前日に会員5名で園芸屋さんに行き、パンジー・ビオラ・すみれを主体に金魚草も90株ほど888株（ドンピタぞろ目）を買付ました。

120平米に会員をはじめ郵便局長さん町内会役員さん地域の方々それに遠方からの参加された方のボランティアのご協力を得て無事におわることができました。天の恵みも得て、いま元気にミミズさんとの会話を楽しんでいるようです♪♪♪



ハロウィンアレンジメント講座

報告

緑のコーディネーター
上床 忍さん

日 時	10月21日(木)16:00~17:00
場 所	舞松原公民館講堂
講 師	石橋 一美先生 (緑のコーディネーター)
参加費	1000円
参加者	12名

緊急事態宣言が発令中だったので、延期での開催となりました。ハロウィンに間に合うことができて、本当に良かったです。

参加者の中には子どもたちもいて、幼児が3名と小学生が1名参加してくれました。オモチャカボチャをみるなり、目を丸くして、触っていました。

アレンジが始まると大人も子どもたちも真剣な表情でしたが、出来上がりの作品を見て、「久しぶりに楽しかった☆」と大満足でした。

フラワーアレンジメントバトル、いざ勝負！ おおいたみのりフェスタ(別府公園)

報告

おもてなし花壇協賛者
後藤 謙治さん

秋晴れの10月16日、17日、別府市野口原の別府公園で、2年ぶりに大分県農林水産祭「おおいたみのりフェスタ」が開催されました。

二日間好天に恵まれた広い会場では、新型コロナウィルス感染対策を取りながら朝から多くの人で賑わいました。

17日のステージイベントで、大分県内の農業系高校生によるフラワーアレンジメントが行われるというので興味を抱き、最前列の席を確保して鑑賞することにしました。

このフラワーアレンジメントには、県立久住高原農業高校と県立大分東高校専門学科(農業)の2校が参加。

ステージ上で県内の花き生産者などの協力による花材(ヒマワリ、アマランサス、アリストロメリア、カーネーションなど)を使って、二人一組となり5分の限られた制限時間の中でフラワーアレンジメントに挑戦、その出来栄えを競い(バトル)、会場の来場者の挙手の多さで勝ち負けを決めるというもの。

初めての参戦でしたが、短い制限時間内で花材を選びフラワーアレンジする高校生の真剣な取り組む姿勢に好感を持ちました。

3回のフラワーアレンジメント・バトル後、両校の高校生が共同で若人の思いをたくさんの花材を使って華やかな作品に仕上げ、来場者から温かい拍手が送られました。



めいのはま宿根草ガーデンの会 10月のご報告

報告

めいのはま宿根草ガーデンの会
小西 倫子さん

めいのはま宿根草ガーデンでは、グラスから穂が顔を出したり、ケイトウで花壇が真っ赤に染まつたりと、秋らしい彩りの花壇になりました。当サークルでは、随時ガーデンの風景をInstagramにて公開しています。ぜひ、秋の風景をご覧ください。

#めいのはま宿根草ガーデン

私たちの花壇では、たくさんのグラスを植えています。グラス類の最たる長所は管理がとても楽だという点です。乾燥や暑さに強く、水やりも植え付け時を除けばほとんど必要ありません。ガーデンショップでも、斑入り、銀葉、銅葉などたくさんの葉色が出回っており、華やかな穂が出るものなど合わせると、さらにたくさんの種類



があります。グラスは雑草の延長のようなイメージで取り入れ難い、と懸念を持たれる方もいらっしゃると思います。しかしビルが建ち並ぶ昨今の都会的な風景にこそ、グラスを入れる事で、より優しいナチュラルな雰囲気の花壇になるような気がいたします。また秋に穂が出るタイプのものを植えておくと、周りが夏の花であってもぐっと秋らしく感じられます。私たちも、ここに似合うグラスを探して、試行錯誤しています。

これからの季節、宿根草は休眠期に入ります。しかしグラスは目立って枯れ込むということがないので、地上部が枯れてしまった宿根草の手前に植えておくと、ちょうど良い目隠しにもなります。グラスの切り戻しは新芽が出る春先の2月を予定しています。それまでは、色の変わってしまった植物もドライフラワーのような感覚で、葉先に朝露がついたり、霜が降りたりなど、誰もが幼い頃に触れたはずの本来の自然に近い風景の変化を楽しめたら良いなと思っています。



よみがえった畑の花壇



いた畑の一画にある花壇スペース。

そんな秋のある日。見事に息を吹き返しました。これ、福岡市内外からお越し頂いている、殿方々。そうです。男性に造って頂きました。

男性と花壇って何だか違和感ありませんか?ガーデニングと男性って無縁のような気がします・・・が、違

あらあら・・・。夏を終え悲しい姿。春に、自宅にあったオリヅルランを始め、色々な球根をせっせと植え、綺麗な花を咲かせたあと、すっかり輝きを失って



うんです。これが土を耕し、囲いを作つと。力も有るし、仕事がとても繊細。私はいつも力尽きてしまい、出来上がる時にはあれ!?ってなってしまうんです。

世界のガーデナーと呼ばれる方々は男性も多い。日本では女性が主でというイメージでいましたが、私の中の固定観念が払拭された良い機会でもありました。

これを機に、女性や男性、老いも若きも関係なく、積極的に花や、花壇づくりと一緒に楽しめたら良いなあ♥っと感じました。緑のコーディネーターとして、まさにSDG's の分野に大いに貢献できそうです。



多肉植物の寄せ植え

日 時 10月23日(土)
場 所 小笠公民館(中央区)
参加費 500円
参加者 20名



報告

緑のコーディネーター
吉松 晃子さん

子供向け講座、本来は夏休みの親子体験講座の予定でしたが、コロナ禍で10月に延期開催となりました。小学校1年生から4年生までの皆さんと一緒に、紅葉した多肉植物の寄せ植えを楽しみました。

背の高い「雅楽の舞」を後方に、フワフワした手触りの「月兎耳(つきとじ)」黄色が美しい「黄麗(おうれい)」を中央に、赤く色づいた「火祭り」と、銅メダルの色の「ブロンズ姫」を手前に配置しました。

帰り際に、「何年位、持りますか?」「どうやって、増えますか?」と数名の質問もあり、皆さんが嬉しそうだったのが、とても印象的でした。



紅葉ウォーキング



緊急事態宣言が解除されましたが、今でもコロナの影響で家の中に籠りがちです。今回のまち館ウォーキングは筋力低下を防ごうと紅葉狩りを兼ねたウォーキングです。

小春日を浴びながら油山川に沿って西油山中央公園まで2kmほどの行程を辿ります。道々、路傍に咲く野草や、水辺に生える草花の説明をしながらゆっくり登りました。

ナンキンハゼやサクラが赤く色付き始めた公園は家族づれや幼稚園児らで賑やかです。北側に開けた展望台から眺める景色は最高で、正面に見える福岡タワーやドームを挟んで西に能古島、玄海島、東側は立花山まで見ることができました。

記念写真を撮った後、午後は自由解散となりました。

日 時 11月4日(土)
9時30分～12時00分
場 所 田隈人権のまちづくり館～
西油山中央公園
参加者 12名

報告

緑のコーディネーター
高井 力ホルさん
森口 正一さん

※ 今回の紅葉ウォーキングで観察できた主な植物

・アレチハナガサ・キンエノコロ・ミゾソバ・ヌマツルギク・ハナヤナギ・ジュズダマ・ダンチク・アキノゲシ・アメリカセンダングサ・クズ・ヒメツルソバ・ノビル・ススキ・カンナ・セイヨウタンポポ・ヒガンバナ(葉)・スイセン(葉)・ホティアオイ・ヨメナ・イソギク・ダンギク・ヒメジョオン・セイタカアワダチソウ・ヤクシソウ・チジミザサ・ハコベ・チカラシバ・スギナ・ウラジロ・カタバミ・イヌビワ・センリョウ・ハナヤナギ・ナンキンハゼ・サクラ・マユミなど
36種



福岡市立百道中学校 花壇改築工事

西日本短期大学 緑地環境学科 高宮ゼミ 設計・施工
テーマ【木漏れ陽と談笑の場】

報告

緑のコーディネーター
坂本 麻理さん

Before



After



百道中学校の玄関脇にある三角の形をした花壇には、毎年季節のお花を植えていましたが、「ちょっと生徒が休憩するベンチがあるといいね」ということから、「花壇を改造してみよう」ということになりました。学校側と相談し改築の許可が下りたものの、いざ計画してみると、何をどうしたらいいのか検討もつかず、ノウハウも全くないう状態からのスタートでした。自分達だけの力ではどうすることもできず困り果てた末に、校区内にある造園業者さんを訪ねていきました。

「ベンチを据え付けて憩いの場を作りたいのです。」加えて「予算も少ないのですが・・・」と相談したところ、西日本短期大学で造園について教鞭をとられている同級生を紹介していただけたことになりました。その日のうちに、高宮先生と百道中学校の花壇の前でお会いし、「ゼミの学生に改築工事の設計図と施工の話を提案してみます」とご回答くださいました。

ゼミの皆さんには三つのデザイン画を持参して中学校の先生とPTA役員の前でプレゼンテーションを行ってくれました。生徒が楽しく集える場、安らぎの空間となるように工夫して設計してくれました。最終的に一つのデザイン画を選びましたが、どの作品も素晴らしいかったです。



いよいよ施工が9月4日に始まり、三角花壇を測量して土を撤去していきます。ベンチの基礎となる部分は天然石「諫早石」を積み野面(のづら)積み(づみ)にし、コンクリートで固めます。座椅子の部分は雨や虫食いに強い「エコアクールウッド」という木材を使用して耐久性に優れた造りにしました。デザイン画ではベンチが緩やかにカーブしており、この曲線を作っていく作業がとても苦戦していました。植栽コーナーにはシンボルツリーとなるように「やまぼうし」を植えました。



野面積み
石の形は千差万別。側面・高さを合わせるのが大変でした。



セメントで固定中
植栽を入れて素敵な花壇ができました。通路はガンコマサ仕様で草が生えにくい工夫がされています。



雨の中、ベンチ座面取り付け作業
カーブするところで苦戦。長方形の木をミリ単位で削って、放射状にカットし弧を描きました。

9月上旬の暑い中、時に雨が降る中、朝早くから夕方まで一生懸命に作業してくれた学生さんの頑張りと、これまでの学びで培った施工スキルのお陰で、工事完了までわずか10日間程で完成しました。

施工の指導と監督してくださいました高宮先生・秦先生、見違えるほど素敵な花壇を造ってくれた学生の皆さん、ヤマボウシ・低木・資材を提供してくださいました安藤造園土木(株)様、諫早石を提供してくださいました松山石材様、本当にありがとうございました。



感謝状を贈呈



完成したベンチに座って記念撮影
右から西短高宮先生、ゼミの学生、百道中校長
先生、教頭先生



裏側



西日本短期大学 緑地環境科
高宮 さやか 准教授

海に近い砂地という条件や学校という条件で設計から施工まで一連の流れを経験させていただきました。この経験を通して「庭園とは何か」を考えて欲しいと願っています。

実際に施工していく中で、学生達の「何が分からないのか」に気が付き、作業しながら教えることができました。学生のアイディアをたくさん引き出しより良い作品となったと思います。



西日本短期大学緑地環境科
学生 龍田 康希さん

今回の改築工事のお話をいただいて、大変嬉しく思いました。学校を出て実践的に学ぶ機会に恵まれて、貴重な経験ができ、とてもありがとうございます。



西日本短期大学緑地環境科
学生 吉岡 真那斗さん

工事の中でとても大変だったところは、「ヤマボウシ」を植える作業です。木の重量は100kg近くあるので、4名で荷台から降ろすだけでも一苦労しました。

ベンチの土台となる石を積み上げていく作業では、表面を平にしながら、同時に高さを合わせていく作業がとても難しく、パズルをやるみたいでした。

最後の仕上げ洗いで気持ちを込めて余分な泥を落として完成させました。



秦 忠広 講師

学生たちが作った作品は想像以上の出来栄えでした。

ベンチの座面づくりに苦戦する生徒達に、ヒントを与えて、自分たちの力で解決して、デザイン通りのベンチが完成しました。

仕上げの作業は特に重要で、洗い出し作業しながら汚れを取り除き、綺麗にすることで、完成度の印象も随分変わってきます。学生たちが自主的に行い、仕上げに至るまで仕事としてすぐにやれるレベルに達しており、将来有望な学生たちだと実感しました。



西日本短期大学緑地環境科
学生 宮本 涼雅さん

対象が中学生だったので、昼休みや放課後に木蔭の下で椅子に座って談笑する絵を思い浮かべながらデザインしました。

シンボルツリーとして植樹した「ヤマボウシ」は5月頃くらいに花を咲かせ、夏は葉が生い茂って日陰をつくり、秋には紅葉となって、木漏れ日を感じられ、四季を感じられる木です。

この花壇改築工事を完成させていいものを造り上げることができたと自負しています。中学生に施工の様子を見てくれたので、造園に興味を持ってもらえたら嬉しいです。

緑のスケジュール



福岡市植物園 URL botanical-garden.city.fukuoka.lg.jp/

福岡市動植物園総合 URL zoo.city.fukuoka.lg.jp/

詳しくはホームページ又は市政だよりをご覧ください

緑のスケジュールをみなさんの緑の活動にお役立てください。
みなさんが作るページです。掲載したい催しがある方は、
みどり課までご連絡ください。



URL midorimachi.jp

☎ 822-5832 (みどり課)

新型コロナウィルスの状況に応じ、延期や中止になる場合があります。詳しくは、各機関にお問合せください。

11/26
金

一人一花ハッスル事業 フラワーボランティア遊花
場所／当仁小学校 時間／13:00～16:00



27
土

先輩受入 秘密基地つくり(ぐりーんぱんだ)
場所／七隈緑地 講師／坂本 憲治氏
時間／9:00～15:00



先輩受入 クリスマスコンテナ
場所／堤丘公民館 講師／石井 康子氏
時間／13:00～14:30



28
日

先輩受入 未来の森つくり(ぐりーんぱんだ)
場所／七隈緑地 講師／坂本 憲治氏
時間／9:00～12:00



先輩受入 クリスマス・お正月コンテナ
場所／鳥飼公民館 講師／石井 康子氏
時間／10:00～11:30



森のクラフトワークショップ
～クリスマスツリー・リースづくり～
時間／10:30～ 13:30～
場所／緑の情報館2F ※先着各20名



29
月

緑のコーディネーター認定更新説明会
時間／10:00～12:00
場所／東平尾公園 陸上競技場



30
火

第22回写真コンテスト作品展示
場所／福岡市総合図書館
～12/26まで（月曜休館）



先輩受入 クリスマス・お正月コンテナ
場所／田島公民館 講師／石井 康子氏
時間／10:00～11:30



12/1
水

緑のコーディネーター認定更新説明会
時間／13:00～16:00
場所／城南市民センター



2
水

緑のコーディネーター認定更新説明会
時間／10:00～12:00
場所／東市民センター



先輩受入 お正月に向けての寄せ植え
場所／南当仁公民館 講師／吉松 晃子氏
時間／13:00～15:00



先輩受入 球根植え付け・種蒔きなど
場所／姪浜駅前南口 講師／葛原 朋子氏
時間／9:50～12:00



緑のコーディネーター10期生 養成講座
12/7(火)18:30～ 12/9(木)9:30～
12/14(火)18:30～ 12/16(木)9:30～

4
土

先輩受入 素敵な寄せ植え
場所／下山門公民館 講師／吉松 晃子氏
時間／10:00～12:00



先輩受入 緑地整備 ぐりーんぱんだ
場所／七隈緑地 講師／坂本 憲治氏
時間／9:00～17:00



先輩受入 植え替えなど
場所／百道中学校 講師／坂本 麻理氏
時間／10:00～



親子体験教室～リースづくり～
時間／13:30～ 場所／緑の情報館2F
参加費／無料 ※申込締切11/21(日) 18組



先輩受入 緑地整備 ぐりーんぱんだ
場所／七隈緑地 講師／坂本 憲治氏
時間／9:00～17:00



6
月
生ごみたい肥づくり研修会
(フォローアップ研修)
時間／①10:00～ ②14:00～ 場所／植物園

福岡市環境局

7
火
冬のバラの手入れと管理
時間／13:30～ 場所／緑の情報館2F
参加費／無料 ※当日先着順 50名



11
土
プチ盆栽づくり2
時間／13:30～ 場所／緑の情報館2F
参加費／2,800円 ※申込締切11/27(土) 20組



12
日
冬の野鳥観察会
時間／10:00～ 場所／緑の情報館2F
参加費／無料 ※当日先着順 50名



21
火
レモングラスでしめ飾りづくり
時間／13:30～ 場所／緑の情報館2F
参加費／1,000円 ※申込締切12/7(火) 20組



26
日
家族でお正月寄せ植え体験
時間／10:30～ 場所／緑の情報館2F
※先着30組



植物園イベント・展示会

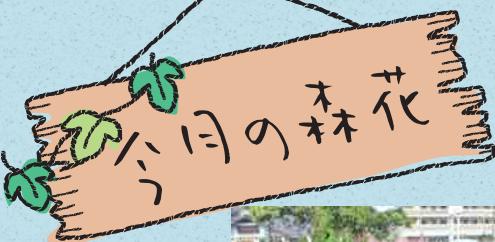
焚火の時間 12/5(日)～2/27(日)

花と緑のまちかど写真展

「花と緑のまちかど写真コンテスト」
に入賞した過去の作品のうち植物園
で撮影された作品を展示します。

12/7(火)～12/26(日)





長浜会

昨年6月に野方からバスで来られた方（初めての方）から、沢山のケイトウ苗を頂戴しました。

今年はこぼれ種で数百本のケイトウが成長し、通行人の皆さんから綺麗ですねと声掛けられています。先月から種採取に取りかかり、複数の方に種のプレゼントをしています！

西公園1区町内会

暑い夏を乗り切った宿根草などが素敵な花壇です。春に向けて種まきした苗も元気に育っています。

大濠公園入口の宿根草花壇と一緒に手入れしませんか？ | 3月START /



完成イメージ



計画図面

大濠公園北側入口に宿根草花壇が新たに整備されることとなりました。新しい花壇は、中央に宿根草、ベースに地被植物、スポットとして一年草を用いた、ローメンテナンスの花壇デザインとなっています。

また、新しい街路花壇は、大濠公園（福岡県）と、まちなか（福岡市）を花で繋ぎたいとの思いから、大濠公園の花壇デザインを取り入れた構成となっています。

一緒にこの花壇の管理を行うメンバーを募集します。この花壇のお手入れをしながら一緒に学びましょう。

問い合わせ、申し込み

大濠公園ガーデニングクラブ代表
花栗 美百合



申込メール
oohorikouen-gardening-club@jcom.home.ne.jp



メール登録者に
お得情報を配信します



タネや苗の提供情報や、研修会やイベントのご案内など、お得な情報を不定期にメールでお送りします。配信を希望する方は下記の方法でご連絡ください。

対象

協会の助成を受けている緑の活動団体、緑のコーディネーターのみなさま

申込方法

名前、所属（活動団体名、緑のコーディネーター）を記入したメールをお送りください

送 信 先 ks@midorimachi.jp



落葉堆肥

ちよこっとメモ。
花壇づくりのアドバイス



宿根トレニアの冬越し



宿根トレニアを花壇で育てている方は、地上部を10cmくらいに刈り込み、上に落ち葉をかけ

ます。植木鉢の場合も10cmくらいまで強く刈込み、植木鉢を南側の軒下におきましょう。雨がかからないう場合は水やりを忘れずに。

冬越しが成功すれば、5月6月には新芽がでてきますよ！

HOW TO

用意するもの



+ 花壇の土

つくりかた

- 1 バケツに花壇の土を入れ、その上に落葉・鶏糞・米ぬかを入れて混ぜる

花壇の土	混ぜる
米ぬか(一握り)	
鶏糞(一握り)	
枯れ葉	
花壇の土	



- 2 水をかける



- 3 花壇の土をかぶせる



落葉堆肥を作っている団体のご紹介



みどりが丘落葉リサイクルの会



白金広場花いっぱい実行委員会



百道浜中公園愛護会



舞鶴公園フラワーボランティア

他にも落葉堆肥をつくっている団体は多数いらっしゃいます。ぜひ情報をお寄せください。

お問い合わせ、申込はみどり課まで

グリーンノートへの投稿をお待ちしています！

記事投稿は、内容を書面・メールにて提出してください。

12月号（12月20日発行）への投稿締切は11月30日です。

発行元／事務局



(公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課

メールアドレス ks@midorimachi.jp

TEL 822-5832 FAX 822-5848